

成田空港におけるエアポートシティ（仮称）の実現に向け、
民間事業者のみなさまからのアイデアを募集します！

令和 7 年 4 月 1 日
NRT エリアデザインセンター

成田空港では、現在、第 3 滑走路の新設などを含む「更なる機能強化※¹」の取組を進めているところであり、年間発着枠が 50 万回まで大幅に拡大し、旅客数、貨物取扱量、空港で働く人々も増えることが期待されているとともに、旅客ターミナルの再構築や新貨物地区の整備などの「『新しい成田空港』構想※²」の検討が進められるなど、まさに「新たな空港をもう一つ造る」「第 2 の開港」とも言える極めて重要なタイミングを迎えています。

また、「更なる機能強化」にあわせて、国・県・空港周辺 9 市町・空港会社では、「実施プラン※³」を策定し「空港を核として、都市と田園が調和し、暮らしや産業の拠点として選ばれるエアポートシティ」を目指して取組を進めています※^{4, 5}。

このたび、NRT エリアデザインセンター（千葉県及び空港会社）では成田空港におけるエアポートシティ（仮称）の実現に向け、民間事業者等による知見やノウハウ等を取り入れ、より実現性・実効性のあるものとするため、広く民間事業者のみなさまからのアイデア募集を行います。

様々なアイデアをお待ちしています！

記

1 募集内容

成田空港におけるエアポートシティ（仮称）の実現にあたり、提案者の知見やノウハウを生かした構想や事業等のアイデア。なお、センター（千葉県及び空港会社）と連携しながら、提案者が中心となって取り組める具体的な提案を想定。

（募集分野の例）

- ・ 成田空港のエアポートシティ（仮称）実現に向けた全体構想・ビジョン・土地利用のあり方に関する提案
 - ・ 成田空港を核とした国際的な産業拠点形成に向けた取組の提案（物流関係、精密機器関係、航空宇宙関係、健康医療関係、農業関係、観光関係分野等）
 - ・ 成田空港周辺地域における地域公共交通ネットワークの充実に向けた取組の提案
 - ・ 成田空港関連従業員の確保と住宅確保、魅力的な住環境に関する取組の提案
- ※例として記載のない分野や複数の分野を組み合わせた提案をすることも可能

2 募集期間

令和7年4月1日（火）～5月9日（金）

3 応募資格

民間企業のほか、大学等の研究機関、NPO法人等（個人は対象外）で資格要件を満たすもの

4 応募方法

ウェブサイトの募集要項

(<https://www.pref.chiba.lg.jp/kuushin/narita/aideabosyuu.html>)

より、必要書類をダウンロードの上、以下の事務局にメールにより必要資料を提出。
(事務局)

NRT エリアデザインセンター

「成田空港エアポートシティ（仮称）実現に向けたアイデア募集」担当

メールアドレス：kuukouko@mz.pref.chiba.lg.jp（千葉県成田空港政策課）

5 提案後の流れ

- ・センター（千葉県及び空港会社）より、必要に応じ、提案内容についてのヒアリングを実施。
- ・提案が受理された者に対しては、センター（千葉県及び空港会社）によりメール等による情報提供（不定期）を実施予定。
- ・提案内容により必要に応じ、センター（千葉県及び空港会社）と提案内容の実施に向けた具体的な協議を実施。

<参考1> 成田空港及び周辺地域の現地見学会の開催について

成田空港及び周辺地域についての見学会を下記の日程により開催します。

※現地説明会に出席しない場合でも、本件に関する提案は可能です。

① 日時 令和7年4月14日（月）※午前と午後の2部制で実施。内容は同様。

午前の部 9時20分集合（9時30分から12時30分の実施予定）

午後の部 13時20分集合（13時30分から16時30分の実施予定）

② 内容 成田国際空港及び周辺地域の見学

③ 集合場所 成田国際空港株式会社 本社ビル1階受付前

④ 申込方法 ウェブサイトの募集要項

(<https://www.pref.chiba.lg.jp/kuushin/narita/aideabosyuu.html>)

を確認の上、以下の宛先へ申し込むこと。

現地説明会申込期限 令和7年4月9日（水）17時まで

※会場の都合から、参加は各回1社につき2名まで

※先着順とし、各回定員になり次第、受付終了とする

申込先メールアドレス：kuukouko@mz.pref.chiba.lg.jp（千葉県成田空港政策課）

<参考2>成田空港を巡る主な動きについて

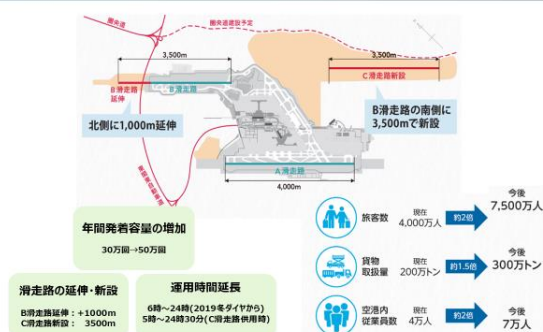
※1 「更なる機能強化」の概要

我が国及び首都圏の国際競争力強化、観光先進国の実現及び空港周辺地域の更なる発展のため、C滑走路の新設やB滑走路の北側への延伸、夜間飛行制限の変更により、年間発着容量を50万回とするもの。

50万回に到達時には、航空旅客数は7,500万人、貨物量は300万トン、空港内従業員数は7万人規模となることが期待されている。

平成30年(2018年)3月、四者協議会において合意がなされた。

更なる機能強化(50万回へ向けた取り組み)



(成田国際空港株式会社提供)

千葉県「成田空港の機能強化について」：<https://www.pref.chiba.lg.jp/kuushin/kinoukyouka2.html>

成田国際空港(株)HP「成田空港の明日を、いっしょに」：<https://www.narita-kinoukyouka.jp>

※2 「『新しい成田空港』構想」の概要

空港会社において、更なる機能強化の推進とあわせて、旅客ターミナルの再構築、航空物流機能の高度化、空港アクセスの改善、地域との一体的な発展等に関する成田空港の将来像となる『新しい成田空港』構想の検討を行うもの。

2024年7月にとりまとめ2.0を公表。



(出典：『新しい成田空港』構想)

「『新しい成田空港』構想」：https://www.naa.jp/jp/airport/new_narita_airport.html

※3 「実施プラン」の概要

正式名称は「成田空港周辺の地域づくりに関する『実施プラン』」。

更なる機能強化の合意とともに、同日決定された『基本プラン』に基づき、具体的な施策事業を盛り込んだもの。

四者協議会において令和2年3月に決定され、令和6年9月に空港内外の状況の変化を踏まえ、見直しを行った。

「実施プラン」：<https://www.pref.chiba.lg.jp/kuushin/kinoukyouka3.html>

※4 具体的な取組

①我が国の国際競争力の強化に向けた成田空港を核とした物流・産業拠点の形成等に関する要望

成田空港の更なる機能強化を生かし、我が国の国際競争力の強化を図るため、国の主導により、成田空港へのアクセス向上や空港を支える人材の確保、空港周辺地域における物流・産業拠点の形成等に取り組むよう、成田空港圏自治体連絡協議会とともに内閣総理大臣に対して要望。

「我が国の国際競争力の強化に向けた成田空港を核とした物流・産業拠点の形成等に関する要望」：

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kuushin/shutoken/moushiire/narita-youbou060729.html>

- ②成田空港周辺地域における民間投資の促進について（成田新産業特別促進区域基本計画）
千葉県では、空港周辺 9 市町とともに作成した、地域未来投資促進法に基づく「成田新産業特別促進区域基本計画」を活用し、成田新産業特別促進区域（空港周辺 9 市町）において、「物流」「精密機器」「航空宇宙」「健康医療」「農業」「観光」の産業集積に向けて取り組む。

成田空港周辺地域における民間投資の促進について（成田新産業特別促進区域基本計画）：

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kuushin/chiikimirai/narita.html>

③NRT エリアデザインセンターの設立

成田空港におけるエアポートシティ（仮称）の実現に向け、千葉県及び空港会社では、ビジョンやゾーニング案の策定、国際的な産業拠点形成、地域公共交通ネットワークの構築など広域的な調整が必要な取組を加速化するため、令和 7 年 1 月の四者協議会において、合意を得て、新たな組織である「NRT エリアデザインセンター」を令和 7 年 4 月に設立した。



（出典：成田空港周辺の地域づくりに関する「実施プラン」）